

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成22年11月4日(2010.11.4)

【公開番号】特開2009-226903(P2009-226903A)

【公開日】平成21年10月8日(2009.10.8)

【年通号数】公開・登録公報2009-040

【出願番号】特願2008-78596(P2008-78596)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/045 (2006.01)

B 4 1 J 2/055 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 103 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月15日(2010.9.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

駆動素子に印加された駆動パルスによりノズルにおける液体表面を変位させて液体滴を吐出するヘッドと、

第1の駆動パルスが前記駆動素子に印加されて前記ノズルから液体滴が吐出された後であって、前記ノズル方向への液体表面の変位が最初に完了した後から次に前記ノズル方向への液体表面の変位が開始する前までに、前記駆動素子に印加される第2の駆動パルスを含む駆動信号生成する駆動信号生成部と、

前記駆動信号を前記駆動素子に印加するコントローラと
を備える液体吐出装置。

【請求項2】

前記第2の駆動パルスは、駆動パルスの最初の部分において、前記液体表面を前記ヘッドの内側方向に変位させる駆動パルスである、請求項1に記載の液体吐出装置。

【請求項3】

前記駆動信号は、前記液体を吐出するための前記第1の駆動パルスと前記第2の駆動パルス以降の駆動パルスとを含み、前記第1の駆動パルスと前記第2の駆動パルス以降の駆動パルスにおいて隣り合う駆動パルス間の間隔が等しい、請求項1又は2に記載の液体吐出装置。

【請求項4】

前記第1の駆動パルスの波形と前記第2の駆動パルスの波形とは同一の形状を有する、
請求項1又は2に記載の液体吐出装置。

【請求項5】

前記駆動信号は繰り返し生成され、該駆動信号の周期は媒体に1つの画素を形成する周期に等しい、請求項1～4のいずれかに記載の液体吐出装置。

【請求項6】

前記駆動信号は1周期において、さらに、前記液体滴を吐出させない駆動パルスを含む
、
請求項5に記載の液体吐出装置。

【請求項7】

前記駆動信号の1周期における前記液体滴を吐出させない駆動パルスと前記液体滴を吐出可能な駆動パルスとの間隔は、前記液体滴を吐出可能な駆動パルス間の間隔と異なる、請求項6に記載の液体吐出装置。